

TamaHome®

**2017年5月期 第1四半期  
決算説明補足資料**

タマホーム株式会社 < 1419 >  
2016年10月14日

## 目次

1. 発表のポイント (P. 3)
2. 受注実績 (P. 4)
3. 売上高実績 (P. 5)
4. 営業利益実績 (P. 6)
5. 住宅事業セグメント実績 (P. 7)
6. 非住宅事業セグメント実績 (P. 8)
7. 連結損益計算書(P/L) (P. 9)
8. 連結貸借対照表(B/S) (P. 10)
9. 2017年5月期 見通し(P. 11)

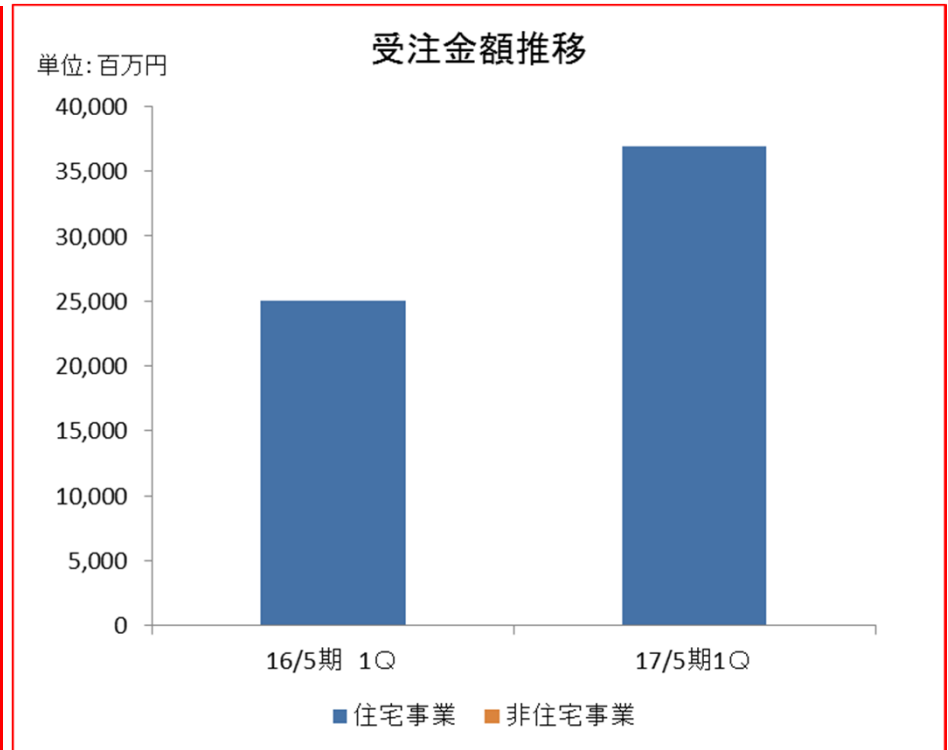
## 1. 発表のポイント

- 前下半期から受注の好調を維持し期首受注残が多く、注文住宅の引渡棟数が増加
- 住宅ローン金利の低下等により消費マインドに変化が見られ、受注が前年同期を上回る
- ベーシックラインの商品ラインナップを拡充し、受注棟数の上積みにも貢献した
- 注文住宅の引渡しが下期に偏るため、第1四半期は営業赤字であるが、年初計画内での推移となった

## 2. 受注実績

- 注文住宅では前下半期からの回復傾向が続き、好調に推移した
- ベーシックライン商品のプラン拡充、積極的な広告により受注棟数が前年比152.8%となった
- リフォーム事業は建築後10年を迎えるOB顧客および熊本エリアを中心に、受注活動が好調に推移した

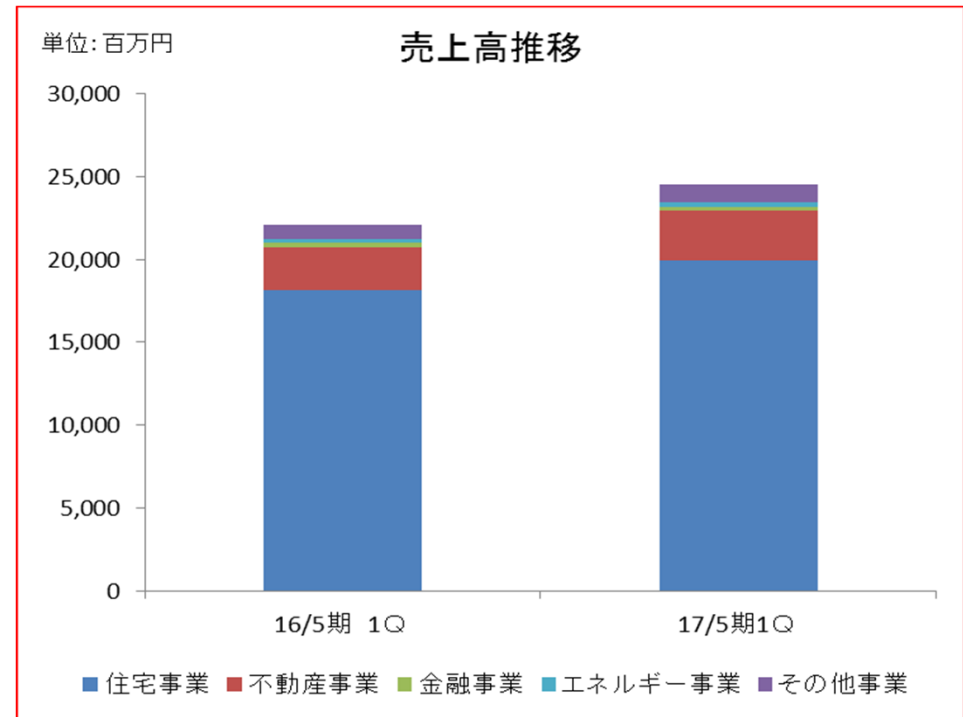
(単位:百万円)	受注金額		
	16/5期 1Q	17/5期 1Q	前期比
住宅事業 計	25,046	36,922	147.4%
注文住宅	24,976	35,660	142.8%
(棟数)	1,372	2,096	152.8%
賃貸住宅	0	-	-
リフォーム	69	1,262	1829.0%
その他事業	-	0	-
総 計	25,046	36,922	147.4%



## 3. 売上高実績

- 住宅事業は、期首受注残の増加およびリフォーム事業の好調な推移により、前年同期比で増加
- 不動産事業は、戸建分譲の販売が堅調に推移し、前年同期比で増加
- 金融事業は、10年超の火災保険販売が停止されたことによる単価下落の影響で、前年同期比で減少
- エネルギー事業は、好天による発電量の増加に伴って、前年同期比で増加
- その他事業は、引渡棟数の増加に伴う住宅周辺事業の好調な推移により、前年同期比で増加

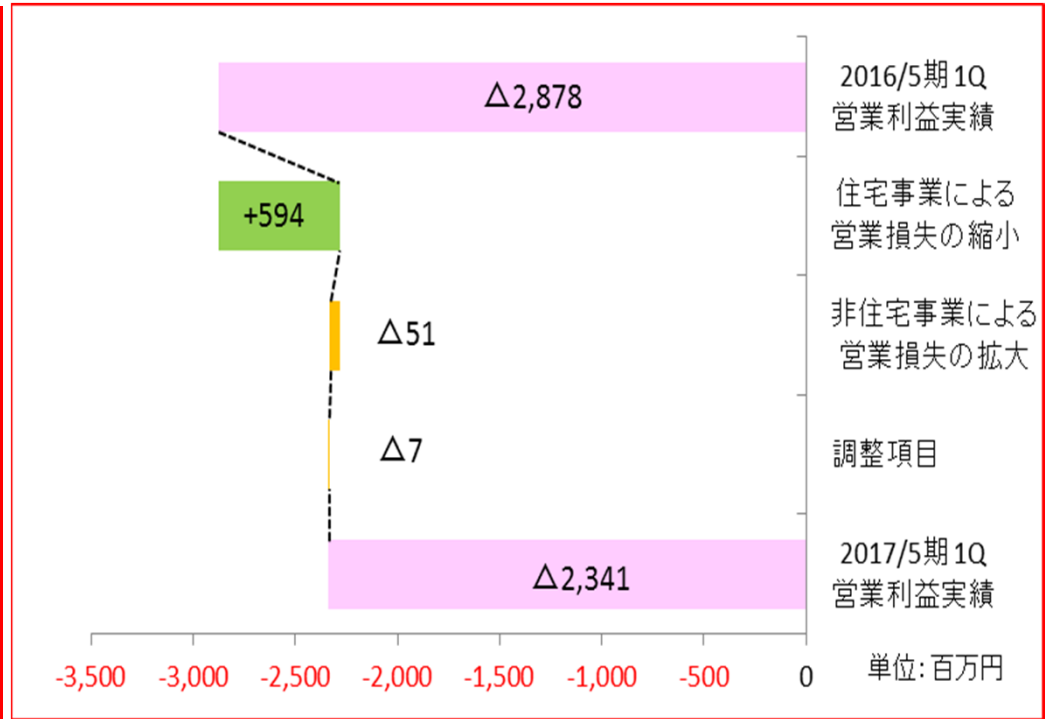
(単位:百万円)	売上金額		
	16/5期 1Q	17/5期 1Q	前期比
住宅事業 計	18,133	19,970	110.1%
非住宅事業 計	3,984	4,543	114.0%
不動産事業	2,585	3,010	116.4%
金融事業	285	202	70.9%
エネルギー事業	230	277	120.4%
その他事業	883	1,052	119.1%
総計	22,118	24,513	110.8%



## 4. 営業利益実績

- 住宅事業は、引渡棟数が前年を上回ったことによって損失幅が縮小
- 不動産事業は、戸建分譲・マンションの販売は堅調に推移したものの、販売価格の調整等により減益
- 金融事業は、10年超契約の火災保険販売停止により、契約件数および単価の下落が影響し減益
- エネルギー事業は、好天による発電量の増加に伴って増益
- その他事業は、引渡棟数の増加に伴う住宅周辺事業の好調な推移、またカンボジアにおける事業の収益性が改善したことが影響して損失幅が縮小

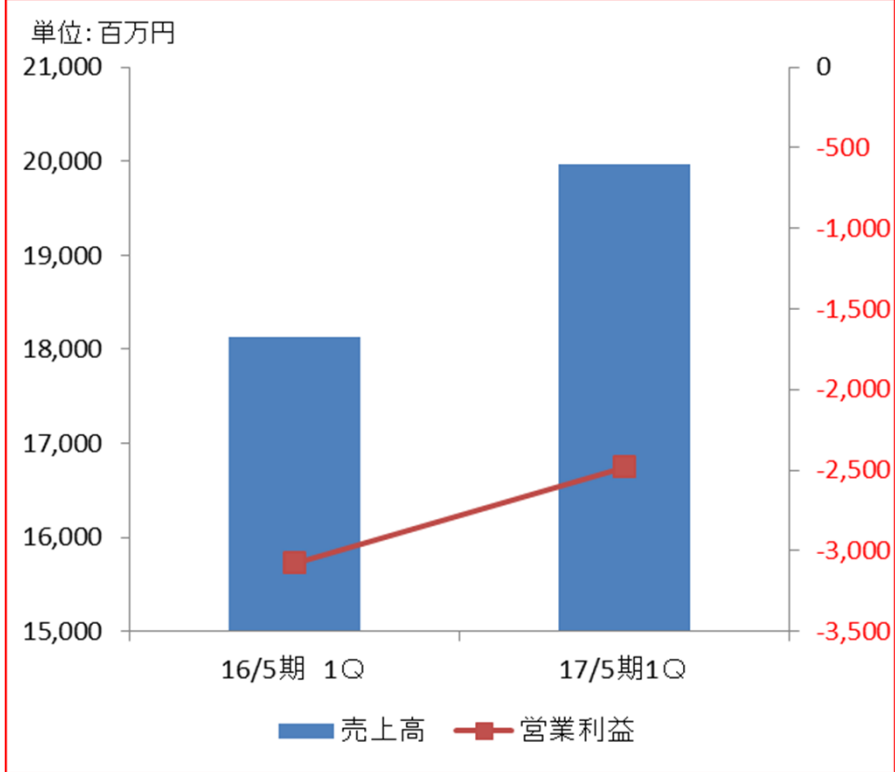
(単位:百万円)	営業利益		
	16/5期 1Q	17/5期 1Q	前期比
住宅事業 計	-3,074	-2,480	-
非住宅事業 計	186	135	72.6%
不動産事業	215	123	57.2%
金融事業	142	48	33.8%
エネルギー事業	96	141	146.9%
その他事業	-268	-176	-
調整額	10	3	30.0%
総計	-2,878	-2,341	-



## 5. 住宅事業セグメント

- 売上高 : 19,970百万円(前年同期比 10.1%増)
- 営業損失 : 2,480百万円(前年同期営業損失3,074百万円)

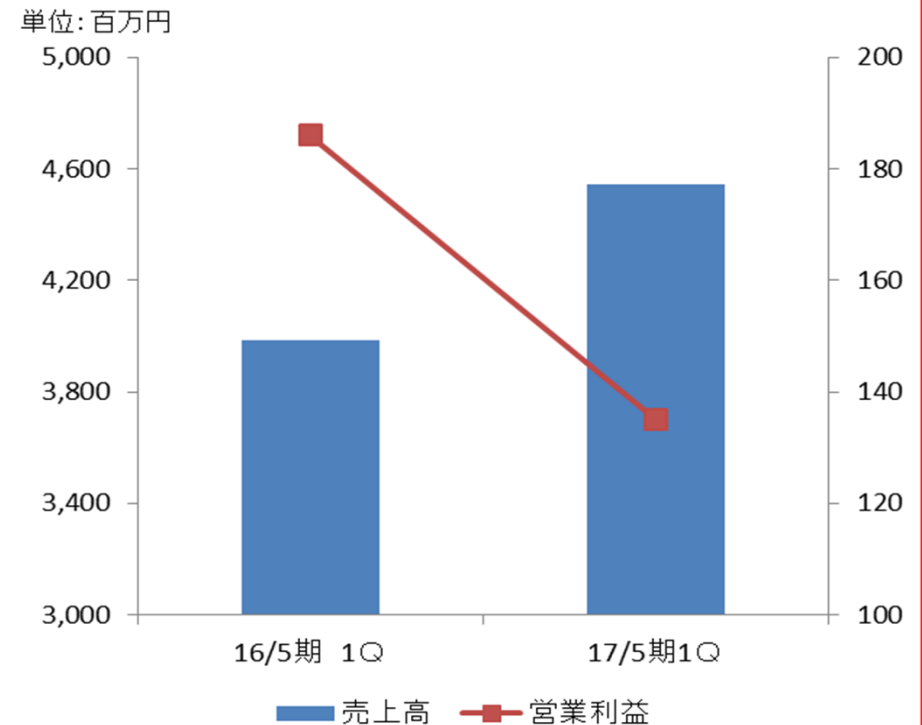
- 注文住宅の引渡棟数が増加  
(2016/5期 1Q) 991棟  
  
(2017/5期 1Q) 1,055棟
- 注文住宅平均販売単価は下落  
(2016/5期 1Q) 1,796万円  
  
(2017/5期 1Q) 1,748万円  
  
参考(2016/5期 通期) 1,779万円
- モデルハウス出店と既存店リニューアル  
移転による出店 1店舗  
リニューアル 10店舗  
  
2017/5期 1Q末店舗数 238店舗(連結)



## 6. 非住宅事業セグメント

- 売上高 : 4,543百万円(前年同期比 14.0%増)
- 営業利益 : 135百万円(前年同期比 27.4%減)

- 不動産事業
  - ・戸建分譲の販売棟数が増加するも、マンションの販売価格の調整による利益率の低下が影響し、増収減益
- 金融事業
  - ・火災保険の付保率上昇も、長期契約保険の販売停止により契約件数、単価ともに下落し、減収減益
- エネルギー事業
  - ・好天による発電量の増加に伴って、増収増益
- その他事業
  - ・注文住宅事業における引渡棟数の増加に伴って住宅周辺事業の好調な推移、またカンボジアにおける事業の収益性改善によって、増収、損失幅縮小





## 7. 連結損益計算書 (P/L)

- 売上総利益率 27.5% : 収益性の高いリフォーム事業を含む住宅事業が貢献し、前年同期の25.9%から上昇
- 営業損失 2,341百万円 : 住宅周辺事業の収益性改善のほか、分譲戸建の販売、メガソーラーの売電が順調に推移し、損失幅縮小

(単位:百万円)	2016/5期 1Q	2017/5期 1Q	増減	前期比
売上高	22,118	24,513	2,395	110.8%
売上総利益	5,724	6,745	1,021	117.8%
利益率	25.9%	27.5%	1.6%	-
営業利益	-2,878	-2,341	537	-
利益率	-	-	-	-
経常利益	-3,065	-2,580	485	-
利益率	-	-	-	-
税引前当期純利益	-3,114	-2,595	519	-
利益率	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-2,292	-2,074	218	-
利益率	-	-	-	-

## 8. 連結貸借対照表 (B/S)

- 資産 : 手持棟数の増加により、現預金が減少し、たな卸資産(未成工事支出金)が増加
- 負債 : 手持棟数の増加により、未成工事受入金が増加

(単位:百万円)	2016/5期4Q	2017/5期1Q	増減	(単位:百万円)	2016/5期4Q	2017/5期1Q	増減
流動資産	52,640	58,432	5,792	負債合計	70,334	78,314	7,980
現金・預金	26,566	22,906	-3,660	支払手形 工事未払金等	19,149	18,316	-833
受取手形・完成工事未収入金等・営業貸付金	3,609	4,654	1,045	短期有利子負債	13,118	13,921	903
たな卸資産	19,053	26,946	7,893	未成工事受入金	12,649	21,301	8,652
その他流動資産	3,411	3,926	515	長期有利子負債	16,033	16,666	633
固定資産	31,225	31,034	-190	その他負債	9,383	8,107	-1,276
有形固定資産	25,432	25,320	-112	純資産合計	13,531	11,153	-2,378
無形固定資産	418	402	-16	株主資本	12,968	10,593	-2,375
投資有価証券	1,256	1,316	60	その他包括利益累計額	344	344	0
その他投資等	4,117	3,994	-123	非支配株主持分	217	214	-3
資産合計	83,866	89,467	5,601	負債及び純資産合計	83,866	89,467	5,601

## 9. 2017年5月期 見通し

- 2017年5月期通期業績については、2016年7月15日発表の予想数値から変更はございません。

(単位:百万円)	2016/5期 1Q	2017/5期 1Q	2017/5期 通期計画
売上高	22,118	24,513	158,800
営業利益	-2,878	-2,341	3,200
利益率	-	-	2.0%
経常利益	-3,065	-2,580	2,400
利益率	-	-	1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	-2,292	-2,074	500
利益率	-	-	0.3%

The logo consists of the word "TamaHome" in a white, sans-serif font, with a registered trademark symbol (®) to the upper right of the "e". The text is centered within a solid red rectangular background.

< お問い合わせ先 >

タマホーム株式会社 経営企画部広報・IR課

TEL : 03-6408-1200

<http://www.tamahome.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向および市場環境や当社の関連する業界の動向、その他内部・外部要因により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。